

④0【地方独立行政法人 市立東大阪医療センター】

住 所	〒578-0947 大阪府東大阪市西岩田三丁目4番5号		病床数：520床					
診療科目	内科・腎臓内科・内分泌代謝内科・免疫内科・血液内科・総合診療科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・皮膚科・小児科・精神科・外科・消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・乳腺外科・乳癌外科・小児外科・臨床腫瘍科・泌尿器科・脳神経外科・整形外科・形成外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・病理診断科・臨床検査科・緩和ケア内科・救急科・歯科・歯科口腔外科（全36科）							
研修責任者名	山田 晃正（副院長）	連絡先：(06) 6781-5101	連絡先担当者名：松浦 可奈子（総務課）					
新臨床研修医指導実績	2021年度：1年目12名 2年目6名 2022年度：1年目14名 2年目9名 2023年度：1年目13名 2年目8名							
研修受け入れ可能診療科		学会認定専門医数	学会認定指導医数					
必修：内科（消化器内科・循環器内科・脳神経内科・腎臓内科・内分泌代謝内科・免疫内科）・外科（消化器、呼吸器、乳腺、小児、心臓血管）・救急科・精神科・小児科・産婦人科 選択研修：血液内科・総合診療科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・整形外科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・病理診断科・緩和ケア内科・臨床腫瘍科（斜字はブロック研修不可の診療科）		185人	167人					
施設の概説・特徴								
理事長名：谷口 和博 院長名：中 隆 令和4年度実績：延入院患者数：150,136人 病床稼働率：79.1% 平均在院日数：9.6日 延外来患者数：242,813人 1日当たり外来患者数：999人 手術件数：7,432件 令和5年10月1日現在職員数：1,161名（うち医師・歯科医師数：169名）								
研修受け入れ可能診療科の説明								
【内科】1年次の内科では内科系6診療科のうち4診療科を選択してローテートし、基本となる診療能力の習得に努めます（同時期に2つの内科系診療科を研修することも可能です）。また、当センターの内科は専門医制度での基幹施設となっており、大阪大学系を中心とした連携施設とともに、当センターの内科専門医プログラムへのシームレスな採用から研修が可能で効率的です。経験できる症例は、学会発表するような稀なケースから、通常一般病院で診療するようなCommon Diseaseまで、幅広く研修ができ、最近3年間で10名が研修修了後にそのまま当センター内科系の専攻医となっています。 【救急科】当院は2次救急指定病院で、COVID-19で減ったとはいえ、年間の救急車搬送件数は約5000件にのぼります。上級医と一緒に当直業務を行い、この多様な救急搬送事例に対応することが、救急科の研修の中心となります。当直業務とは別に、4週間の中でのER救急研修や、麻酔科とICUの研修も行います。また隣接する中河内救命救急センターで、3次救急医療について研修することも可能です。当院での2年間の研修が終わる頃には、一般的な救急対応と当直業務については自信をもって行えるようになり、その後どの診療科に進んでも必ず役に立つスキルが身につきます。 【外科】当院外科には、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の各スペシャリストが多数在籍し、互いに協力して、手術や検査などを行っています。2019年からは、心臓血管外科が新設され、外科志望の初期研修医や専攻医にとっては、1施設で全ての外科疾患の経験ができることが最大の魅力です。 NHKの朝ドラでも取り上げられるように「モノづくりのまち」として知られる東大阪市ですが、当センターは「ひとつづくりの病院」を目指し、スタッフ一同、専攻医や初期研修医の指導に取り組んでいます。特に、外科では「できるだけやらせてみる」をモットーに、多くの若手外科医には関連病院でも最も多くの研鑽の場を提供していると自負しています。また、学術面での指導にも注力しており、毎年複数の初期研修医の先生が各種学会において優秀演題賞を獲得しています。 【小児科】小児科の研修期間中は、成人の診療科では経験することのできない小児の診察や診断方法を学ぶと共に、ご家族とのコミュニケーションの取り方を学びます。 【産婦人科】中河内地区の地域周産期センターであるとともに産婦人科診療相互援助システム（OGCS）参加施設として近隣の施設よりハイリスク妊婦の母体搬送や婦人科救急患者の受け入れを行っています。その一方で、がん拠点病院として悪性腫瘍に対する集学的治療を行うとともに、良性疾患に対する低侵襲内視鏡手術を積極的に施行しています。内分泌領域や東洋医学をサブスペシャリティとする医師もいますのでバランスの良い研修医療機関と考えています。 【精神科】精神科を有していない無床総合病院の精神科ですが、認知症やさまざまな精神疾患の方が身体疾患で入院し、リエゾン精神医学に必要な診療技術・経験・知識を得ることが出来ます。また、認知症ケアチームの運営や緩和ケアチームに参加しており、多職種協働が臨床の主体となっています。精神科医を志す先生方だけでなく、さまざまな診療科に進まれる先生方にも役立つ研修です。 【選択診療科】選択診療科は、1年次に6週、2年次に28週あり、希望により自由に選択診療科を選ぶことが出来ます。すべての診療科では臨床研修指導医養成講習会を受講した指導医が責任をもってカリキュラムに沿った研修を行います。研修医によって、研修修了後に希望すべき診療科を長期選択希望したり、逆に研修医のときに希望すべき診療科“以外”の専攻科をあえて選択希望するなど、さまざまです。								
研修の概説と特徴								
定員7名に対して7～8倍の応募がある大阪の東に位置する人気病院です。人気の秘密はみんなが仲良く、良い雰囲気です。研修ができ、指導医もやさしいことです。それが物語るように、これまで研修中断した研修医は一人もいません。医局は大阪大学と奈良医大からの派遣になりますが、研修医はほとんどに多数の大学出身者が仲良く研修をしています。また、救急に力を入れているのでcommon diseaseへの対応力が身につきます。 1年目研修スケジュール（例）								
6週	6週	6週	6週	8週	4週	4週	4週	6週
内科(消化器)	内科(循環器)	内科(脳神経)	内科(腎臓)	外科	救急(麻酔)	救急(中河内)	救急(院内)	選択
2年目研修スケジュール（例）				8週	28週			
小児科	産婦人科	地域医療	精神科	麻酔科(ICU)	選択科			
研修医の当直								
1年目：内科救急当直勤務有（月平均3回） 2年目：内科救急当直および小児科救急当直有（月平均3～4回） ※当直明けは9時で帰宅要請され、OnとOffがはっきりした体制です。当直以外で夜間休日と呼び出しがあることはありません。								
処 遇								
【給与】1年次年収見込 約600万円（給料：248,900円、初任給調整手当：25,120円、賞与2.86ヶ月、時間外手当、通勤手当、住居手当など） 【給与】2年次年収見込 約700万円（給料：263,900円、初任給調整手当：50,240円、賞与4.4ヶ月、時間外手当、通勤手当、住居手当など） 【勤務時間】8：30～17：00【休日】土、日、祝、年末年始 【休暇】年次有給休暇：10日、ワークライフバランス休暇：7日、他特別休暇【病院公舎】有り（20,000円/月） 【福利厚生】社会保険完備、定期健康診断、各種予防接種								